

## (シリーズ) 欧州の石油メジャー



BP は典型的な石油会社です

1992 年にオイルサンド事業から撤退したが

昨年 1~5 月の「(シリーズ) 欧州の石油メジャー」で、Royal Dutch Shell、Total、Statoil(現在は StatoilHydro)および Eni を取り上げましたが、欧州第 2 位の石油会社 BP が残っていました。

昨年 5 月に Hayward 氏が BP の最高経営責任者に就任したので同氏の方針が見えてくるまで執筆を延期していました。

### 昨年 12 月に

Hayward 最高経営責任者は、「オイルサンドの舞台への劇的な再登場」(2007 年 12 月 5 日、The Globe and Mail)によって、「Beyond Petroleum(石油を超えて)」で有名になった前任者 Browne 氏との違いを明確にしました。

BP の Toledo 製油所(原油処理能力 160,000 bpd、オハイオ州)の精製設備と、Husky Energy がカナダ・アルバータ州に保有する Sunrise オイルサンド・プロジェクトの資産を、両社が折半で出資するふたつの合弁会社を通じて交換することにしました。

この合弁事業は、「2012 年に 60,000 bpd のビチューメンを生産し、10 年後には 200,000 bpd に増強する。Toledo 製油所は現在 60,000 bpd のビチューメンを処理できるが 2015 年までに 170,000 bpd に処理量を増やす」(2007 年 12 月 6 日、The Wall Street Journal)と報道されています。

### 過去を調べました

1983 年に、「British Petroleum の子会社の BP Canada と Petro-Canada が折半で出資する Wolf Lake オイルサンド・プロジェクト(アルバータ北東部 Bonnyville の北方)が具体的に動き出し」(1983 年 8 月 18 日、Dow Jones News Service)しました。

(Web 公開版)「世界のエネルギーの話題」(2008 年 3 月 15 日)

同プロジェクトは 2 年後に「油層内回収による商業生産を開始」(2007 年 6 月 1 日、Offshore)し、「1991 年には 7,200 bpd を生産しましたが、1992 年になると価格の低迷を受けて生産量を半減」(1992 年 2 月 24 日、Improved Recovery Week Pasha Publications, Inc.)しました。

そして同じ年に、BP Canada と Petro-Canada は、Wolf Lake プロジェクトを Amoco Canada Petroleum に売却しました。

British Petroleum は、さらに BP Canada も売却しました。  
BP Canada は自立し、社名を Talisman に変更しました。

当時、BP Exploration の最高経営責任者だった Browne 氏が「アラスカおよびメキシコ湾岸地域を除く北米の陸上部での石油・天然ガスの開発からの撤退を決めた」(1992 年 5 月 13 日、The Financial Post)と説明しています。

余談ですが、昨年 9 月に Talisman の最高経営責任者に就任した Manzoni 氏は、昨年 5 月まで BP の精製・販売部門の責任者でした。

Manzoni 氏の前は、BP Canada の最高経営責任者だった Buckee 氏が Talisman 設立以来ずっとその最高経営責任者でした。

話を戻して、British Petroleum は 1998 年に Amoco と合併して BP Amoco となり、翌 1999 年に、カナダ最大規模で生産を行っていた天然ガスおよび NGL の資産は残すものの、同国に保有していた石油の資産は Canadian Natural Resources および Penn West Petroleum に売却して、事業の規模を縮小しました。

Canadian Natural Resources は、後に Horizon プロジェクトを始めることになる鉱区をこの時に入手しました。

同プロジェクトは、年内に 110,000 bpd の合成原油の生産を開始し、2010 年に 155,000 bpd、2012 年に 232,000 bpd に生産量を増加する予定で、「建設工事は順調に進んで」(2008 年 2 月 12 日、Dow Jones News Service)います。

BP の広報担当者は「Horizon の資産を売却した頃は石油価格が低迷し、オイルサンドは疑問の多い資産だった」(2007 年 12 月 5 日、The Globe and Mail)と振り返っています。

BP がカナダからの撤退を決めた頃の原油価格(WTI)はバレル 12ドル前後でした。

## そして今年に入って

「Husky Energy との合併事業の手助けをしたモントリオール銀行の投資チームが、BP は 3 年前にオイルサンド事業に参入する意志を固めていたことを明らかに」(2008 年 1 月 31 日、National Post)しました。

3 年前の原油価格(WTI)は既にバレル 40 ドルを超えています。

最近、Hayward 最高経営責任者は、「インディアナ州の Whiting 製油所(原油処理能力 405,000 bpd)でも Husky Energy との合併事業と同じようなことを行う可能性がある。この製油所は 400,000 bpd のオイルサンド油を処理する能力を持つ可能性がある」(2008 年 2 月 28 日、National Post)と語っています。

同社は、1999 年のカナダからの撤退の際に手元に残したアルバータ州の Kirby 地域のオイルサンド鉱区の開発も検討しています。

## ひとこと

多数の情報に目を通しましたが、オイルサンドからの撤退が「環境に対する配慮」によるものとの説明はどこにもありませんでした。

あるものは普通の投資の論理だけでした。

(YY)

\*\*\*\*\*

本レポートは、世界の 2,100 以上の新聞、3,700 以上の業界誌、500 以上のニュースワイヤー(速報)/プレスリリース等を検索できるファクティバ(ダウ・ジョーンズ社のデータベースサービス)を利用して入手した多数の記事、レポートを比較、分析して執筆しています。(山崎由廣)